

基本目標Ⅱ 男女が共に参画する社会づくり

体系一覧(第2次小城市男女共同参画プラン) ～男女がともに認めあい、支えあい、希望あふれる小城市をめざして～							
施策の方向	基本事業	事業	担当課	現状値	①実績値	②平成30年度実績 (事業の内容・取り組み状況)	目標値
				27年度	30年度		33年度
(1) 家庭や地域における男女共同参画の推進							
① 家庭における男女共同参画の促進							
	12	夫婦の家事・育児協力について考えるきっかけとなるよう、パパ・ママ教室を実施する。 【数値目標】パパ・ママ教室の男性参加者数	健康増進課	42人	53人	・歯科医師や保健師による講話、パパの妊婦体験、オムツ交換等の体験を行っている。実施回数：年3回、53組。	60人
	13	父親の育児参加を促進するため、子育てハンドブックや父子手帳を配布する。	社会福祉課	—	○	・相談や問い合わせのあった際の説明時に、子育てガイドブックを使用するとともに配布している。今年度は、新たにガイドブックを作成した(平成31年3月発行)。	○
			健康増進課				
② 地域における男女共同参画の促進							
	14	男女がともに自治会活動・コミュニティ活動へ参画することを促進するための意識啓発を行う。	企画政策課	—	×	未実施	○
	15	男女を問わず、互助として地域住民による高齢者の生活支援の体制づくりを進める。	高齢障がい支援課	—	○	・平成28年度から開始した生活支援整備事業で、地域の困りごとを解決しようと男女を問わず地域住民と一緒に支援方法を各町ごとに考えていく第2層協議体を平成29年度に発足した。本年度は4町毎で3回、合同で1回の計13回開催した。また、市全体の情報共有・連携強化の場として第1層協議体を8月に発足し、8月と1月の2回開催した。	○
③ 地域防災における男女共同参画の推進							
	16	防災会議への女性参画を推進し、防災計画に女性の意見を反映させる。	防災対策課	—	○	・平成30年度小城市地域防災計画の修正について議論を行った。女性委員からの意見もあった。	○
	17	女性消防団員の加入の促進や、男女参画による自主防災組織の運営を支援する。 【数値目標】市消防団員における女性消防団員の割合	防災対策課	1.6%	1.4%	・女性消防団員等の活動を掲載した消防団情報誌「あおうみ」を2回発行し、消防団の理解促進・イメージアップを図った。	2.5%
	18	男女共同参画の視点で、災害に対する事前の備え、避難所運営を実施する。	防災対策課	—	○	・地区防災訓練において、女性消防団員が中心になって炊き出し訓練を行った。	○
(2) 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進							
① 女性人材の育成と活用							
	19	あらゆる分野で女性参画を促進するため、リーダー育成を行う。 【数値目標】女性人材バンクの登録者数	企画政策課	4人	2人	・女性人材バンク登録者へ各種講座や研修会の情報提供をした。 ・女性人材バンクへの登録推進記事を市ホームページ(通年)、市報2月号に掲載して登録を呼びかけている。 ・女性人材バンクからの審議会等への新規登用 1人。	8人
	20	審議会等の政策・方針決定過程への女性の登用を推進する。 【数値目標】女性委員のいない審議会等の数	企画政策課 (関係各課)	8	8	・男女共同参画推進本部や審議会等への女性登用率調査を通じて関係各課へ女性の登用を依頼している。 ※平成30年度末現在、審議会等委員への女性の登用率は31.3% (平成29年度末30.2%、1.1%増)	4